

# PSIM News

Professional Skills Instruction Materials  
CONSORTIUM

法 実 務 技 能 教 育 教 材 研 究 開 発 コ ン ソ ー シ ア ム ニ ュ ー ズ レ タ ー

## セミナー等報告

### 第38回法実務技能教育支援セミナー

2021年11月13日(土)に、Zoomによるオンラインにて、「法科大学院補助教員の意義と役割～多様性と重要性」と題して第38回法実務技能教育支援セミナーを開催いたしました。法科大学院教員は科目を主担当する専任教員や非常勤講師だけでなく、多くの補助教員によって支えられています。このセミナーでは早稲田大学のアカデミックアドバイザーを務められている三宅千晶氏(70期)と一橋大学学習アドバイザーを務められている備酒貴也氏(73期)にご登壇いただきました。おふたりとも特定の科目ではなく、法科大学院製の全般的な学習サポートにあたっておられますが、司会担当の名古屋大学法科大学院上松健太郎氏も、専任の実務家教員となる前に補助教員として特定科目の教育補助を担当されていました。このように法科大学院における補助教員の教育学習への関わり方は多様ですが、法科大学院の直接の先輩である若手弁護士が身近に配置され、学習相談に限らずさまざまな修学上の相談に乗ってもらえるというのは院生にとってはたいへん有意義であるといえます。他方、科目担当教員との連絡や調整が十分でない場合もあり、院生目線で法科大学院の教学を再検討していくという課題の存在も明らかとなりました。法律家が後継者の養成に積極的にかかわるといのはプロフェッションとしての法律家の不可欠な要素でもあります。シャドーワークとするのはいささか言い過ぎかもしれませんが、法科大学院生の目線で、教学制度の全体像を捉え直す意義を確認する良い機会となりました。ご参加いただいたみなさまに心より御礼申し上げます。



▲ 三宅 千晶氏



▲ 備酒 貴也氏

## CONTENTS

今号の主な記事

第38回法実務技能教育支援セミナー	…01
新型コロナウイルス期における名大LSでの対面・遠隔併用方式の模擬裁判の試み	…02
模擬接見を開催	…03
日本組織内弁護士会(JILA)との懇談会	…03
第15回総会	…04
今後の予定	…04

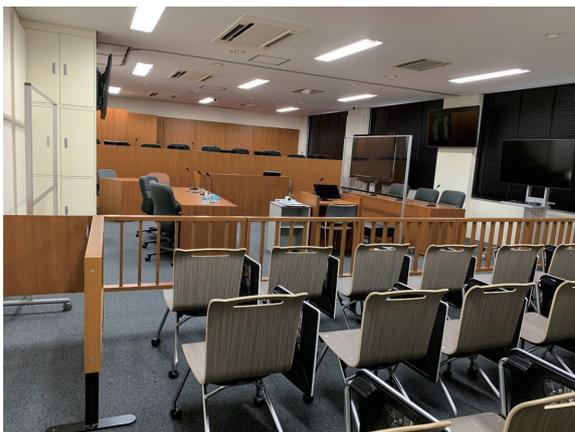
## 新型コロナウイルス期における名大LSでの対面・遠隔併用方式の模擬裁判の試み

名古屋大学大学院法学研究科 教授 小島 淳

2021年8月17日・18日にLS科目「刑事実務基礎」の一環としての「模擬裁判」を名古屋大学の刑事法廷教室(以下「法廷」という)で実施した。新型コロナ禍の第4波と第5波の狭間の時期ではあったものの、同じ法廷内に多数の学生・教員が長時間いれば「クラスター」が発生する可能性もあったことから、「安全第一」をモットーに、「遠隔」の手法も取り入れつつ、法廷内での訴訟行為に関してはなるべく「対面」感を損ねないように科目担当教員(加藤直人検事、棚村治邦判事、古田宜行弁護士と小島)で協議して方法を考えた。幸いPSIMにおいて対面・遠隔併用方式の模擬裁判の効果的な実施に役立つシステム・機器を法廷内に装備済みであったため、それも活用し、以下の形で実施した。

まず、法廷内にいられるのは、当該時間帯に実演を担当する裁判官役、検察官役、弁護人役(3名ずつ)のほか科目担当教員のみとし、実演者は一マスク及び(検察官役及び弁護人役は)各当事者席の前に設置されたアクリル板越しにはあるが一対面方式でそれぞれ訴訟行為を行い、実演者以外の者は各グループの控室(同じ建物の別の階にある比較的大きい教室あるいはやや小さい教室二つ)に各自PCを持ち込み、分散して着席し、Zoomで中継される法廷内の様子を傍聴するものとした。法廷外にいる傍聴者への配信は、VR-1HDという機器を用いて、Zoom経由で、①模擬裁判の全過程(全裁判官役による最終評議の様子も含む)につき裁判官席・各当事者席・証人席を常時表示する4分割画面の形で法廷内の映像を、また、②法廷内の証人席脇にある書画カメラを用いて資料を提示しながら尋問等をする場合は上記4分割画面と書画カメラの画像を切り替えて法廷内で提示されている資料を、それぞれ配信する形で行った。また、諸々の事情で大学に来るのが困難で遠隔で実演を担当せざるを得ない者による証人尋問については、法廷内の証人席の斜め前に設置されたBIG PADという大画面型多機能機器に教員のPCの(Zoomの)画面を表示し、Zoomの方の画面表示の切り替えをすることで質問者のみを当該画面に表示し、その者が法廷にいる証人を尋問する形を取った(なお、この機能は全実演終了後の記念撮影の際にも重宝(?)された)。なお、担当班の入れ替えの際は法服のスプレー除菌(裁判官役)、座席・机等の除菌や手指消毒の徹底(全グループ)を指示した。実演中・休憩中の法廷内の換気にも留意した。

画像の切り替えの遅延等個人的には反省点もあるが、全体としては安全にかつライブ感を維持する形で模擬裁判を実施できたと考えている。実演を担当した全ての学生や熱心に学生を導いてくださった担当実務家教員及び被告人・証人役の協力弁護士の方々、諸々の点でサポートしてくださった富崎先生、PSIMの大橋様及び藤本先生に感謝したい。



▲配信される法廷の4分割画面の様子。  
法廷外の傍聴者にも臨場感が味わえる。

## 模擬接見を開催(PSIMコンソーシアム共催)

2021年12月15日(水)、名古屋大学にて、名古屋大学法学部宮木ゼミ・愛知県弁護士会主催、PSIMコンソーシアム共催の模擬接見を開催いたしました。Covid-19の感染対策を徹底するとともに参加者の皆様のご協力により、対面方式で開催することができました。

このイベントは宮木ゼミの所属学生と法科大学院生が15のチームに分かれて弁護人となり、15人の弁護士の先生方が扮する被疑者と初回接見を行い、①傷害事件、②窃盗事件、③覚せい剤取締法違反事件について防御方針を考えていくというものです。学生たちの士気は高くチームで入念に準備を行い、被疑者役の弁護士の先生からのリアルな質問や要望にはチームでその場で相談し、資料や六法を片手に対応する姿は遅しくも思えるほどでした。

実戦さながらの接見は、被疑者から話を聞いたり説明をする必要があり、法律知識だけでなく、コミュニケーション能力も求められます。開始直後は緊張していた学生も回数を重ねるごとに徐々に緊張が解け、被疑者役の弁護士の先生方に真摯に向き合っていました。

模擬接見終了後は、全体講評と併せて学生たちと弁護士の先生方の懇談の時間が設けられ、活発な質疑応答や意見交換が行われていました。そこでは、弁護士の先生方から学生時代の勉強方法はもちろん、弁護士のリアルな日常も語られ、学生たちは熱心に耳を傾けていたのが印象的でした。

このような貴重な機会が設けられたことに、関係者のみなさまには心より感謝を申し上げます。



## 日本組織内弁護士協会(JILA)との懇談会(PSIMコンソーシアム共催)



2021年12月1日(水)、名古屋大学にて、日本組織内弁護士協会(JILA)との懇談会を開催いたしました。

官公庁、銀行、一般企業に所属する7名の弁護士の先生方にご出席いただきました。

はじめに、永田明良弁護士(株式会社十六銀行)より、組織内弁護士の概況などの説明があり、その後はあらかじめ出されていた課題についてグループに分かれて検討しました。

終了後の質疑応答では、組織内弁護士の日常やワークライフバランスを念頭においた家庭との両立などについて参加した学生は熱心に聞き入っていました。

このような貴重な機会が設けられたことに、関係者のみなさまには心より感謝を申し上げます。

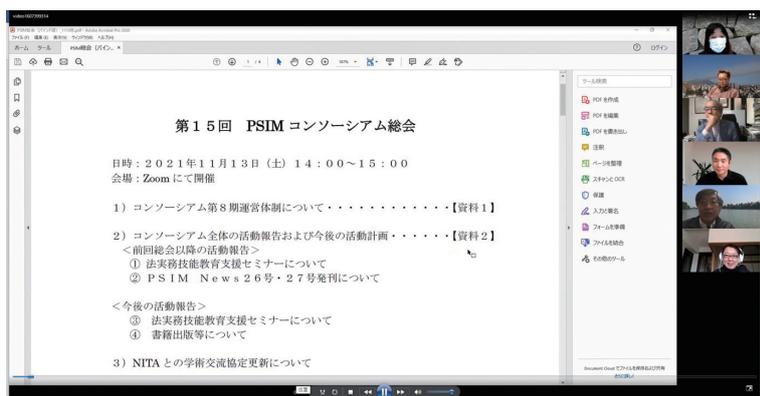
## 第15回総会

2021年11月13日(土)、Zoomによるオンラインにて、第15回PSIMコンソーシアム総会を開催いたしました。

藤本代表より、コンソーシアムの活動報告および今後の活動についての報告後、模擬法廷セット紹介がなされました。

総会終了後に開催いたしました参加校および協力機関各校からの報告では、主にCovid-19禍における各校の模擬裁判等の実務科目の実施状況や対面および対面とオンラインの併用で実施するハイブリッド形式の授業の方法についてご報告をいただきました。また、2023年度より導入される司法試験の「在学中受験」に向けて、最終学年前期に配当されている実務教育科目の開講方法等についての情報交換も行われました。

総会にご出席いただきましたみなさまにこの場をお借りしてお礼を申し上げます。



## 今後の予定

### 第39回法実務技能教育支援セミナー

「Book Reviewと対話—『ローヤリングの考え方』  
(榎本 修著、近刊)」

日時 2022年3月12日(土)9:00~11:00

場所 オンライン開催

### 第16回PSIMコンソーシアム総会

日時 2022年

場所 未定

法実務技能教育教材研究開発(PSIM)コンソーシアム ニュースレター 第28号

【発行者】PSIMコンソーシアム 【代表】藤本 亮 名古屋大学大学院法学研究科 教授

【事務局】〒464-8601 名古屋市千種区不老町 名古屋大学大学院法学研究科 211研究室

【TEL&FAX】052-788-6234 【ホームページ】<https://psimconsortium.law.nagoya-u.ac.jp>

法実務技能教育教材研究開発(PSIM)コンソーシアムは、法科大学院における法実務技能教育に関し、教材の作成と共同利用・教育人材の養成・教育方法論の構築を目的として、下記の法科大学院が参加して全国規模で活動しています。

【PSIMコンソーシアム参加校】

名古屋/北海学園/東北/東京/専修/早稲田/上智/日本/

愛知/南山/金沢/関西学院/大阪市立/岡山/広島/九州/琉球 (2021年4月現在17校 順不同)